

まなびの森

校長通信第9号 令和元年.12.1
廿日市市立吉和小中学校
校長 森岡 勝司
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、自己実現をめざす児童生徒の育成」

ネパールってどんな国！ ネパールで活躍する方から学びました！

今年を締めくくる師走を迎えました。年頭に決意したことは何かと思い出してみますと、英会話の上達とメタボ解消でした。これはPTA総会でも述べた決意ですが、なかなかうまくいっていないのが現状です。その点では、今月は来年に向けての準備期間、つまり目標を達成させるための計画を立てる月にしたいたいと考えています。



さて、先月の20日は、海外青年協力隊の一員としてネパールで働いておられる橋本 良さんとスカイプ（インターネット通信）を活用して交流会を開催しました。橋本さんは、廿日市市役所吉和支所で働かれた方で、ぜひネパールに興味を持っていただきたいという思いで、吉和支所職員の方々のご協力で実現しました。小学5・6年と中学生を対象に行いましたが、橋本さんが主にされている仕事が、女性の収入向上のサ



ポートであることや、学校に保健室がない状況から学校での健康診断を開始されたこと、時間は基本的には守らないのんびりした国民であること等、橋本さんのお話に興味津々といった感じでした。まとめとして、グローバル社会を生きていくわけだから、テレビで世界に触れてみることにより、心のグローバル化をと言われ、そして、ネパールに僕を訪ねて来る人がいないので、ぜひ来て

くださいと呼びかけられました。子どもたちも積極的に質問し、橋本さんの応答に笑顔が広がる等、なごやかな雰囲気でした。今後も、多様な文化との出会いの場を創り上げていきたいと思えます。（ネパールとの交流も）

6年生の感想を一部抜粋して紹介します。

○ネパールが良い人がたくさんいるということが良くわかりました。すごくびっくりしたのは、トイレにトイレットペーパーがないことと牛を殺したり、傷つけたら処罰というのにびっくりしました。トイレではトイレットペーパーではなく、バケツの水を^{しゃく}杓に入れて手でふく（左手）ということには本当にびっくりしました。手でふくというのは汚いというイメージしかないのですが、ネパールの方々には習慣ということを見るとすごいなと思いました。○牛は神様（ヒンズー教）を知って、日本は牛をめっちゃくちゃ食べていて、それをネパールの人たちが知ったら、どう思うのかなと思いました。トイレでは左手でお尻をふくことがびっくりしました。男同士でも手をつなぐ（ボディータッチが多い）のも左手でつないでいるのかなとちょっと面白かったです。